

学校だより

9月号

やさしい子 たくましい子 考える子



黒門

発行日 令和6年9月2日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 飯塚 雅之

努力は報われるのか

校長 飯塚 雅之

学校に元気な声が帰ってきました。子供たちは夏休みに様々な体験をし、また一步成長した姿を見せてくれました。2学期も頑張っていきたいと思っています。

さて、この夏の出来事といえば、各種目で熱戦が繰り広げられたパリオリンピックでしょう。日本の選手も大活躍で、オリンピックでは金20個、銀12個、銅13個と海外開催の五輪での最多記録を更新するという素晴らしい結果でした。

しかし、メダルの期待がかかる中、届かなかった選手がたくさんいたことも事実です。

競泳女子100mバタフライに出場した池江璃花子選手は、準決勝で敗退し、決勝に進むことは叶いませんでした。レース後のインタビューで、池江選手は涙が止まらず声を絞り出すように話し出しました。「ここまでの努力は何だったんだろうと思うし、頑張ってきた意味はあったのかなと、そんな気持ちでいっぱい。自分なりに一生懸命やってきたつもりだったが何も変わってなかった。本当にいつまで苦しまなければいけないんだろうと思う。」と率直な胸の内を語った後、こう付け加えました。「また4年後、リベンジしに戻ってきたいと思う。」

池江選手は「結果が出ればいちばんよかったが今は現実を受け止めたい。人って悔しさを経験しないと成長できないと思うし、今はそう思うしかない。オリンピックは選ばれた人しか立てない場所だし、選ばれた人しか経験できない雰囲気なので、この経験は一生のものだ。次に自分が何をしなければいけないのかちゃんと考えて、落ち着いて行動したい。」と前を向きました。

思えば、池江選手はそのキャリアの中で何度も困難に直面しては、それらに打ち勝ってきました。その最たる例が、2019年に判明した白血病です。抗がん剤の副作用で一日に5回も嘔吐を繰り返し、体重が15kg以上落ちたこともありましたが、それでも努力を重ね、2021年にはリレーメンバーとして東京オリンピック出場を勝ち取りました。

また、パリの前哨戦である昨年の世界水泳でも、得意の100mバタフライと50m自由形でまさかの予選落ちという挫折を味わいます。「なんか泣きそうになっちゃった。」と、その心境を吐露しましたが、池江選手は諦めませんでした。池江選手は自著の「もう一度、泳ぐ。」の中で、「(どんな試練も)病気の時のしんどさに比べたら全然きつくはないでしょ、って自分に言い聞かせています。」と過去の経験を糧にしていることを明かしています。

努力は報われるのでしょうか。多くのスポーツ選手が努力について言葉を残しています。

「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない。」

王 貞治

「努力をしても報われない奴はいる。間違いなくいる。ただ成功した奴は、必ず努力をしている。」

長州 カ

「努力すれば報われる?そうじゃないだろ。報われるまで努力するんだ。」

リオネル・メッシ

「努力は必ずしも報われるものではない。だけどその努力が報われるまで努力し続ける。」

池江 璃花子

困難を克服する度に、一回りも二回りも大きくなって帰ってきた池江選手。涙の敗戦を乗り越え、さらにたくましくなった姿を見せてくれるはずです。誰もが辛く無気力になることもありますが、きっと「努力は報われる」と信じる力を持ち続け、励んでいきたいと思えます。